

巻頭言

アンケートの途中経過とこれからの全国会

北のポリオの会 今田雅子

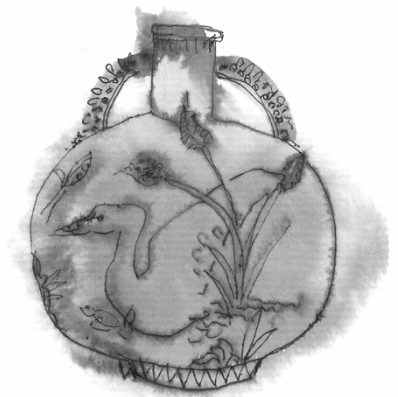
この会報がお手元に届くのは、夏。今年も暑いのでしょうか。皆さん、熱中症に気をつけ、感染症対策もおこたらず、そして自分にあった運動も継続という難しい判断を日々積み重ねていらっしゃると思います。

今年の春、会報 No.65 で協力をお願いしました会員向けアンケートは、830 通郵送し 6 月 1 日現在 577 通が集計会社に返送されました。70%近い回収率です。最終的には、もう少し増えるかもしれません。運営委員一同、こんなに高い回収率になるとは、予想していませんでした。嬉しい誤算です。

ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。皆様のご期待に応えなくてはと、身が引き締まる思いでいます。

結果は、次の会報でまず単純集計をご報告する予定です。自由記載欄にたくさん書いてくださった方もいらっしゃいます。これは、来年の会報でのご報告になると思います。前回 2005 年の実態調査からの変化など、どんな分析結果になるのか、いましばらくお待ちください。

北海道の会員さんから、「手にもポリオの影響があるのだけれど、手帳に記載されるほどではないため足の状態だけで等級が決められたが、このアンケートだとそういう微妙なところをどのように答えたら結果に反映されるのかわからなくて、答えられない。」というご意見をもらいました。そうですね。アンケートという枠の中では、微妙なことが抜け落ちてしまう場合もあると思います。そういうことは、一人一人から丁寧に聞いて行くしかないと思いますし、それはそれぞれの会においてその役割を担う人が必要なのだと思います。今後の要検討事項として、忘れずにいたいと思います。



さて、全国会の事務局は 2 年ごとに各地の会が持ち回りで担って来ましたが、今年からは全体で運営することになります。詳しいことは、この後の活動計画などをお読みください。2000 年に全国ポリオ会連絡会を始めるための検討を始め、2001 年に第一回の総会が開催されてから 20 年以上がすぎました。この間の会報など資料の整理を行い、これまで積み重ねて来たことの価値を改めて感じています。新しい本の発行が新聞に掲載されると、問い合わせが来ますから、私たちの活動は今でも必要とされているのだと思います。みんな歳を取るばかりですが、必要とされている間は体調に気をつけながらももう少し継続して行きたいと思っています。これからもご協力をよろしくお願いいたします。